

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます。

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



拙者は地域を愛してるでござる

2014年3月、多賀城に新ヒーロー誕生。その名も「古代忍者遮鋼(しゃごう)」。多賀城に活気を呼ぼうと、市内外のイベントに出演したり、地域の清掃活動をしています。

そんな彼は、町前地区のラーメン屋で修行中。ある日、近所の道端にゴミがたくさん落ちていることに気づき、ラーメンの仕込みが終わった後の空いた時間を利用して、地域のゴミ拾いをするようになりました。続けていくうちに「ゴミ拾いをするのが恥ずかしかったけど、遮鋼がゴミ拾いをしていることを知って勇気をもらい、私もはじめました」「地域をキレイにするのを遮鋼だけにまかせるわけにはいかない。私たちもゴミ拾いしよう」という方も現れたそうです。

地域をキレイにする、良くしていくのはヒーローだけの仕事ではありません。「ポイ捨てをしない」「気付いたらゴミを拾う」— 遮鋼は、こうした地域の人たちが自ら行動を起こすキッカケを与えてくれるヒーローでもあるのです。



東北で出土した「遮光器土偶」がモチーフ。多賀城の花であるあやめ色の体、手甲とベルトには多賀城瓦の模様もデザインされています。



地域のゴミ拾いをする遮鋼

推参!

しゃごう 遮鋼



「拙者がゴミ拾いをしたりイベントに出て話題をつくり、多賀城に人を呼び込みたいでござる」と想いを語ってくれました。

ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

- **すべては妄想からはじまる。** 2015年7月2日(木) 掲載
角田市の若者が、自分のまちが「こうなったらいいな～」と話し合う「かくだもそうかいぎ」。まちがおもしろくなるきっかけを生み出します。
- **ニーズを捉える「しらべるチカラ」** 2015年7月14日(火) 掲載
「自分がしたい活動は、社会から求められているか?」を知るニーズ調査の方法「かぞえる・くらべる・たずねる」を駆使したノウハウをご紹介します。
- **ユニークなキャッチコピーのポスター** 2015年7月30日(木) 掲載
大型店の参入や人口減少などで客足の減る商店街が、クリエイターの協力のもとインパクトのあるポスターで注目を集めています。

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「あったらいいな」の想いを叶える!

ハッピーママサロン



日常生活で「子連れだと気兼ねして楽しめない」ことってありませんか? そんな悩みのある、未就学のお子さんを持つママを対象に、親子で一緒に楽しめる場づくりを考えます。ゲストには、子連れママのための映画上映会を行う「NPOママとシネマ実行委員会」代表の眞野美加さんをお迎えします。

日時	2015年9月25日(金) 10時~12時30分
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 302会議室
費用	500円(託児は無料)
定員	15名(先着順/要事前申込)
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて ※託児を希望する場合は、9月17日(木)までにお申込ください
問合せ	022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! *ケータイ、スマホからご覧いただけます。



発達に凸凹を抱える子どもたちの家族に ホッとできる時間を

安心できる場所
大事ですね



発達障がいの子とその家族を支援する「ハッピーピース」。
代表の本郷佳江さんに団体を立ち上げたきっかけや想い、活動についてお聞きしました。

—「ハッピーピース」ができるまでのことを教えてください。

以前は、発達障がいについて今ほどは知られてなく、「我が子との向き合い方が分からない」などの悩みを相談する場がほとんどありませんでした。そこで多くの人に発達障がいのことを知ってもらおうと、自閉症がテーマの映画上映会を同じ悩みを抱えるお母さん方と2010年に開催しました。この時に子育てや仕事をしながら準備をした経験から、一人一人は短い時間しか関われなくても、多くの人に関わることで悩みが少しでも小さくなるような取り組みはできないかと考えました。また、私がカウンセリングや心理学の講師を務める中で、講座参加者から「専門的な話だけでなく、日常の困りごとを解決できる経験談も聞きたい」という話があり「同じ悩みを持つ人同士が集まって話す場や交流する機会をつくることで、多くの人に活動に関わってもらえる!」と思いました。そこで、上映会のメンバーや関わりのあった人たちと一緒に、2014年11月に団体を立ち上げました。



自らも自閉症のお子さんを持つ、
代表の本郷さん



3月に行われた座談会。
子育ての悩みや経験談を話しました。

—主にどんな活動をしていますか？

「経験談を聞きたい」という話を踏まえて、お母さん同士が自由に情報交換できる茶話会、先輩お母さんの話を聞く座談会を開いています。それぞれの経験を話したり聞いたりすることで、互いに共感しあい子育てに生かしてもらっています。それとともに、子どもとの接し方やコミュニケーションの方法などを学ぶ勉強会も行っています。また現在新たに、疑似体験を通して発達障がいに理解を深めてもらう「キャラバン隊」と、子どもだけではなく、家庭や地域での困りごとにも相談できる「個別相談」を企画しています。これらの活動には、勉強会の時の託児やチラシ配付などの形で、会員やサポーターのみなさんにも関わられる範囲内でご協力いただいています。

—これまで活動してきて、参加者からの反応はいかがでしたか？

チラシを見てご連絡いただいた方からは「子どもだけでなく、家族も支えてくれる団体なんですね」とよく言われます。子どもへの支援も大事ですが、お母さんたちの居場所も必要です。悩みを抱えるお母さんたちは皆、自分は孤立していると考えてしまいがちですが、ハッピーピースのイベントに参加することでではなかなか得られない共感を得られたり、普段考えていることを話すことで一息ついて、また頑張ろうと思ってもらえます。今後とも、分からないことが多くて不安だけ何とかしたいと思っている方と一緒に考えながら、少しでも安心できる場や時間を多賀城につくっていききたいです。



子どもの特徴の理解や、今必要な支援を記録するサポートブックの講座。

詳しくはコチラ

発達支援ハッピーピース

検索

<http://blog.canpan.info/happy-peace/>

「発達障がい」とは？

コミュニケーションや対人関係を作るのが苦手など、生まれながらに発達の凸凹を持つ、脳の機能障害です。